

～ 北陸新幹線飯山駅開業PRイベント 本町にぎわい創生事業 ～

信州の歴史や風土を活かした街並み形成の一環として、各店の特徴を表現した「和モダン」な「のれん」を大学生と共同制作。また北陸新幹線の開通に先駆け、「六斎市」を首都圏で出張開催し、身近になる「ふるさと（飯山）」の魅力をPRした。

所在地：長野県飯山市大字飯山1163
TEL：0269-62-3060 FAX：0269-62-1790
URL：<http://www.iiyama-honmachi.com/>
組合員数：42名
商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

飯山市本町商店街協同組合は長野県の北部に位置し、飯山城の城下町として栄えた歴史を有する地域の中核的な商店街。城下町や寺町をイメージした「和モダン」をコンセプトとするアーケードへの改装等、歴史や風土を活かした街並み形成の取組みを積極的に実施している。

近隣に市役所やJA、銀行等があり、高齢者を中心とした来街者は一定数あるものの、郊外の大型商業施設への顧客流出、売上減少の問題を抱えている。また北陸新幹線飯山駅の開業に伴い、飯山を訪れる観光客を取り込むための方策も必要となっていた。

実施した事業の概要

①内山和紙を活かしたイベントと街並み形成事業

アーケードの改装に合わせ、店舗の外観も「和モダン」の雰囲気にと考えていたところ、以前より交流のある文化学園大学より「各店の特徴を草木染と藍染のれんで表現し、統一感を演出する事業」の提案を受け、共同で実施した。

国の伝統的工芸品に指定されている「内山和紙」の灯籠で商店街を飾る「灯籠まつり」で「のれん」を披露する予定が、開催日の8月9日は台風接近で中止、11月の「えびす講（後出）」でのお披露目となった。

②六斎市の首都圏（埼玉県川口市）での出張開催

かつて飯山には仏教の齋日「六斎日」に因んで「六斎市」と呼ばれる定期市が存在した。スーパー撤退後、買い物に不便を感じる地域住民に向け、平成19年より2と6のつく日に、隣接する空き地においてフリーマーケットスタイルで生鮮品等を販売する「六斎市」を復活。

この「六斎市」を、新幹線開通で近くなった飯山への観光案内と商店街のPRを目的に、飯山のまちづくりで交流のある法政大学小島ゼミの学生と連携して、8月22日～23日に埼玉県川口市の樹モールにて出張開催し、両日で800名の集客があった。

③えびす講イベントの実施

昔から11月には一冬の必需品を売り出す「えびす講」が催されており、現在も冬の安全や商売繁盛祈願の大売り出しを実施している。今回はチラシの折込に加え、ホームページやSNSによる広報活動を行った。地元特産品の大抽選会やスラックライン（綱渡り）体験、ミニSL乗車体験会の他に、「草木染と藍染のれん披露展」を行い、「のれんの巡り歩き」という新たな楽しみを来街者に提供した。



成果と成功の要因



今回の事業を通じて、地域や大学とのつながりが強まったと感じている。大学との共同事業を実施した事で、新聞やテレビで紹介され、大きなイメージアップにつながり、事業実施後の歩行者通行量は3.1%の増加となった。

また初の試みである「六斎市」の首都圏開催によって、北陸新幹線の開通で気軽に訪問できる「身近なふるさと」飯山と商店街に関心を抱いてもらえた。来街者が減りつつある中、他地域からの観光客等の誘引に今後の可能性を見出すことができた。歴史ある街で、大学生の若い感覚が賑わいづくりの要因となった。

今後の取り組み

今後も学生からの提案に耳を傾け、若者のユニークな発想をイベント等に取り入れ、観光客にとっても魅力的な、賑わいのある街づくりを推進して行くこととしている。「のれん」事業は全市的な取り組みへの拡大を提案しており、今後、統一感のある商店街の景観形成を目指す。首都圏での商店街のPR（出張六斎市の開催）も、まちづくり団体や大学と連携して引き続き実施し、観光客の流入を図って行きたいと考えている。